

平成29年度

特別対策自主事業報告書

(日本産革PR製品を活用した普及啓発)



平成30年3月

一般社団法人日本タンナース協会

目次

- 1. はじめに・・・ 1 P
- 2. 活動報告・・・ 2 P
- 3. 活動紹介写真・・・ 3 P
- 4. 委員会活動歴・・・ 4 P
- 5. 総括・・・ 5 P



1. はじめに

平成26年度より、特別対策自主事業（基金事業）の一環として、日本のタンナーが生産した天然皮革をもとにして、日本国内の製品メーカーが製作したPR用の革製品（※以下、景品という）を、日本タンナーズ協会（※以下、当協会）のイベントだけでなく日本国内の日本産の革を扱う皮革産地組合のイベントにも提供することができる事業活動をスタートした。

担当委員会である景品製作委員会にて事業展開を検討し、今年度は無償提供（※景品表示法によると200円以内のモノであること）ができる景品＝革製メガネ拭きを製作することになった。

さらに、景品の製作数は35,000セット。当協会の日本産革PR活動や日本国内の皮革産地組合が実施しているイベントを対象として、細かな運用については送付先となる各支部に一任するという方針を景品製作委員会にて決定した。昨年に引き続き、革製スマートフォン拭きに当協会のブランド運営委員会にて日本産の革をPRするためのマークとして推進している“ジャパンレザープライドロゴマーク”（※上図参照）を活用することにした。

調達にあたっては、景品製作委員会にて決定した仕様書や簡単なサンプルをもとに日本国内にある製品メーカー複数社に対して見積書の提出を依頼し、見積もり合わせを行った。提示価格だけでなく生産体制なども加味しながら総合的な評価をもとに「(株)フィスコ」を再度選定し、日本産の革の調達から製品加工、そして納品までの業務委託契約を締結した。

東京レザーフェア（5月と12月）にて、来場者アンケートの景品として各400枚を配布した。（活動紹介にて写真紹介）次章から、活動内容の詳細について写真を交えながら報告としてとりまとめておく。

2. 活動報告

製作した景品の配布状況については、次の通り。

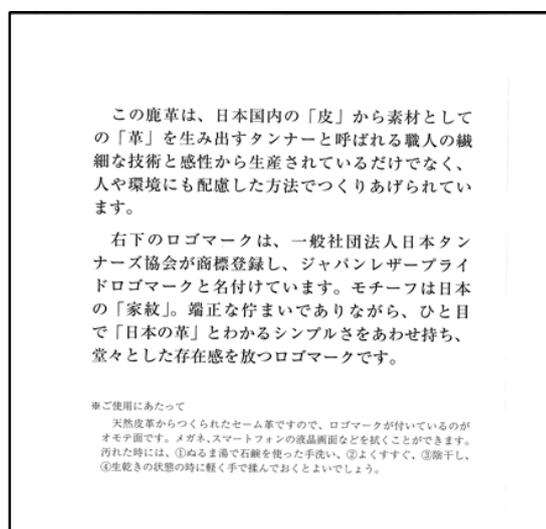
無償配布用景品《革製スマートフォン拭き》：

製作数：35,000セット（1セット＝1個入）



サイズ：角型・縦15cm×横15cm・革厚1mm

◇袋詰めされた景品＝革製スマートフォン拭きの中には、ジャパンレザープライドタグを紹介したもの・ご使用にあたっての詳細の説明が記されたチラシを同封した。



i) 配布内訳表

配布先	配布数	イベント名
兵庫県皮革産業 協同組合連合会	6,000	兵庫・たつのレザーフェア、 百貨店イベント
松原支部	700	皮革フェスティバル、隣保館まつり
誉田支部	1,000	誉田・松原・沢田の合同イベント
沢田支部	200	支部イベント
御着支部	1,500	皮革フェスティバル・皮革まつり
高木支部	1,300	ザ 姫路 巨匠 (マイスター)
網干支部	50	支部イベント
川西支部	100	支部イベント
大阪支部	150	支部イベント
和歌山支部	5,500	和歌山商工まつり、 和歌山レザーフェスティバル
関東支部	9,200	商工会議所まつり、 スカイツリー、すみだの歳時他
日本タンナーズ協会	5,600	東京レザーフェア、日本革市他
4月発送予定分	3,700	支部イベント他
合計	35,000	

3. 委員会活動歴

①平成29年5月19日

平成29年度予算及び製作物(革製スマートフォン拭き)、各支部への配布数量について検討し、運用方法の確認を行った。

②平成29年12月7日

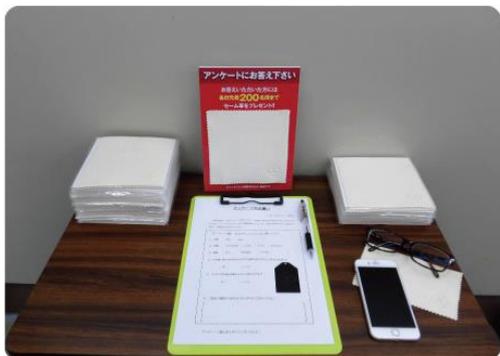
平成29年度の実績及び配布結果と各支部からの追加要望も多いことで、5,000セットの追加製作が理事会にて承認されたことが報告された。また、平成30年度の事業計画について検討され、革製スマートフォン拭きを継続製作することを決定し、事業目的に「常設店舗を除く」という一文を追加しイベント支援での配布運用を厳正化することを決定した。

さらに、各地区からの追加要望も多い現状から予算増額を次回事業総括委員会に提案することとなった。

③平成30年3月8日

法規ルールに基づき無償配布が可能な200円以内での製作に限ることが事業総括委員会で決定された。

4. 活動紹介写真



【 東京レザーフェア 】



【 日本革市 】



【 兵庫・たつのレザーフェア 】

5. 総括

平成29年度は、“革製メガネ拭き”を“革製スマートフォン拭き”と名称を変更し、昨年引き続き製作した。各地域でのイベントにおいて来場者に無償配布を行い、多くの方々から「柔らかくて手触りも良く、本当にきれいに拭きとれる。」

「マークがシンプルであるにも係わらず高級感がある。」などという声が多数寄せられた。また、日本革市においてもアンケートプレゼントとして配布を行ったが、「昨年も頂いて使っているが、革が身近に感じられるようになった。」「毎年日本革市を楽しみしています。」という声が方々から寄せられている。

今年度は、当初30,000セットを製作したが好評のため、各支部からの要望もあり5,000セットの追加製作を行った。

一人でも多くの人たちに日本産の革の良さ、日本で革を生産するタンナーがいること、さらには日本タンナーズ協会を少しでも身近に感じて頂けるように努めていきたいと考えている。関係者の皆様には引き続き、当委員会活動へのご支援・ご協力をお願いしたい。